

# 運用報告書(全体版) 満期償還

第11作成期

第20期(償還日:2020年7月21日)

\*当ファンドの仕組みは次のとおりです。

|        |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
|--------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 商品分類   | 単位型投信/海外/債券                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
| 信託期間   | 2015年7月17日から2020年7月21日まで                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| 運用方針   | <ul style="list-style-type: none"><li>・米国のライフライン関連企業が発行する米ドル建の好利回り債券を主要投資対象とします。</li><li>・投資する債券は、当ファンドの信託期間終了前に満期を迎える債券に限ります。</li><li>・基準価額(支払済の収益分配金を含みません)が12,000円以上となった場合には、保有している好利回り債券を売却し安定運用に切り替え、速やかに償還します。</li><li>・外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。</li><li>・債券の運用にあたっては、パインブリッジ・インベストメンツ・エルエルシーに外貨建資産の運用の指図に関する権限を委託します。</li></ul> |
| 主要投資対象 | 米国のライフライン関連企業が発行する米ドル建の好利回り債券を主要投資対象とします。                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
| 組入制限   | <ul style="list-style-type: none"><li>・株式への投資は、転換社債の転換請求、ならびに転換社債型新株予約権付社債の新株予約権の行使により取得するもの限り、投資割合は信託財産の純資産総額の10%以下とします。</li><li>・外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。</li></ul>                                                                                                                                                                       |
| 分配方針   | 毎年2、5、8、11月の各20日(休業日の場合は翌営業日)に決算を行い、収益分配方針に基づいて分配を行います。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。                                                                                                                                                                                                                                                   |

## 米国ライフライン 好利回り債券ファンド (為替ヘッジなし・早期償還条項付) 2015-07 〈愛称:要〉

—— 受益者のみなさまへ ——

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。

「米国ライフライン好利回り債券ファンド(為替ヘッジなし・早期償還条項付)2015-07」は、2020年7月21日をもって償還いたしましたので、運用状況および償還内容をご報告申し上げます。

長い間ご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。



パインブリッジ・インベストメンツ株式会社  
〒100-6813 東京都千代田区大手町一丁目3番1号 JAビル

お問い合わせ先・・・投資信託担当

電話番号/03-5208-5858

(受付時間/9:00~17:00(土、日、祝休日を除く))

ホームページ/<https://www.pinebridge.co.jp/>

## 目 次

### ◆米国ライフライン好利回り債券ファンド（為替ヘッジなし・早期償還条項付）2015-07<愛称：要> 運用報告書 償還

|                               |    |
|-------------------------------|----|
| ◆設定以来の運用実績 .....              | 1  |
| ◆当作成期中の基準価額と市況等の推移 .....      | 2  |
| ◆設定以来の投資環境 .....              | 3  |
| ◆設定以来の運用経過 .....              | 9  |
| ◆1万口(元本10,000円)当たりの費用明細 ..... | 13 |
| ◆<参考情報> 総経費率 .....            | 13 |
| ◆売買および取引の状況 .....             | 14 |
| ◆主要な売買銘柄 .....                | 14 |
| ◆利害関係人との取引状況等 .....           | 14 |
| ◆組入資産の明細 .....                | 14 |
| ◆投資信託財産の構成 .....              | 15 |
| ◆資産、負債、元本および償還価額の状況 .....     | 15 |
| ◆損益の状況 .....                  | 15 |
| ◆投資信託財産運用総括表 .....            | 16 |
| ◆毎計算期末の状況 .....               | 16 |
| ◆償還金のお知らせ .....               | 17 |

## ◆設定以来の運用実績

| 決 算 期  |                             | 基 準 価 額            |           |           |           | 受 益 者 利 回 り | 債 券 組 入 比 率 | 元 残 存 率    |
|--------|-----------------------------|--------------------|-----------|-----------|-----------|-------------|-------------|------------|
|        |                             | (分配落)              | 税 込 分 配 金 | 期 中 騰 落 額 | 期 中 騰 落 率 |             |             |            |
| 第1作成期  | (設 定 日)<br>2015年7月17日       | 円<br>10,000        | 円<br>-    | 円<br>-    | %<br>-    | %<br>-      | %<br>-      | %<br>100.0 |
|        | 第1期(2015年11月20日)            | 9,612              | 50        | △338      | △3.4      | △9.7        | 94.2        | 99.8       |
| 第2作成期  | 第2期(2016年2月22日)             | 8,519              | 50        | △1,043    | △10.9     | △22.9       | 97.6        | 96.6       |
|        | 第3期(2016年5月20日)             | 8,789              | 50        | 320       | 3.8       | △12.6       | 95.1        | 94.2       |
| 第3作成期  | 第4期(2016年8月22日)             | 8,272              | 50        | △467      | △5.3      | △13.9       | 96.7        | 90.9       |
|        | 第5期(2016年11月21日)            | 9,027              | 50        | 805       | 9.7       | △5.4        | 97.6        | 88.4       |
| 第4作成期  | 第6期(2017年2月20日)             | 9,386              | 50        | 409       | 4.5       | △2.0        | 96.9        | 83.2       |
|        | 第7期(2017年5月22日)             | 9,403              | 50        | 67        | 0.7       | △1.3        | 96.3        | 78.9       |
| 第5作成期  | 第8期(2017年8月21日)             | 9,247              | 50        | △106      | △1.1      | △1.7        | 97.7        | 75.2       |
|        | 第9期(2017年11月20日)            | 9,440              | 50        | 243       | 2.6       | △0.5        | 95.5        | 71.7       |
| 第6作成期  | 第10期(2018年2月20日)            | 8,984              | 50        | △406      | △4.3      | △2.0        | 96.6        | 67.5       |
|        | 第11期(2018年5月21日)            | 9,335              | 50        | 401       | 4.5       | △0.4        | 95.8        | 65.0       |
| 第7作成期  | 第12期(2018年8月20日)            | 9,344              | 50        | 59        | 0.6       | △0.2        | 97.9        | 62.1       |
|        | 第13期(2018年11月20日)           | 9,483              | 50        | 189       | 2.0       | 0.4         | 98.4        | 60.5       |
| 第8作成期  | 第14期(2019年2月20日)            | 9,425              | 50        | △8        | △0.1      | 0.3         | 94.1        | 58.5       |
|        | 第15期(2019年5月20日)            | 9,397              | 50        | 22        | 0.2       | 0.4         | 95.4        | 57.7       |
| 第9作成期  | 第16期(2019年8月20日)            | 9,113              | 50        | △234      | △2.5      | △0.2        | 97.1        | 56.3       |
|        | 第17期(2019年11月20日)           | 9,301              | 40        | 228       | 2.5       | 0.3         | 98.9        | 55.1       |
| 第10作成期 | 第18期(2020年2月20日)            | 9,524              | 40        | 263       | 2.8       | 0.9         | 97.1        | 54.5       |
|        | 第19期(2020年5月20日)            | 9,220              | 39        | △265      | △2.8      | 0.3         | 86.4        | 53.3       |
| 第11作成期 | (償 還 日)<br>第20期(2020年7月21日) | (償還価額)<br>9,133.15 |           | △86.85    | △0.9      | 0.1         | -           | 52.9       |

(注1) 設定日の基準価額は当初設定の投資元本です。

(注2) 基準価額の騰落額および騰落率は分配金込み。

(注3) 受益者利回りは分配金込み基準価額の当初元本に対する年率換算利回りです。

(注4) 当ファンドは、適切に比較できる指数がないため、ベンチマーク等はありません。

## ◆当作成期中の基準価額と市況等の推移

| 決算期  | 年 月 日                 | 基 準 価 額            |        | 債 券<br>組入比率 |
|------|-----------------------|--------------------|--------|-------------|
|      |                       |                    | 騰落率    |             |
| 第20期 | (期 首)<br>2020年5月20日   | 円<br>9,220         | %<br>- | %<br>86.4   |
|      | 5月末                   | 9,185              | △0.4   | 96.8        |
|      | 6月末                   | 9,201              | △0.2   | 89.1        |
|      | (償 還 日)<br>2020年7月21日 | (償還価額)<br>9,133.15 | △0.9   | -           |

(注) 騰落率は期首比です。

**設定以来の投資環境**

(2015年7月17日～2020年7月21日)

**米国好利回り債券市場****第1作成期（2015年7月17日～2015年11月20日）**

当作成期の米国好利回り債券市場（米ドルベース）は、中国の経済減速懸念、世界経済の先行き不安、原油価格の急落、FRB（米連邦準備制度理事会）による金融政策の不透明感の広まりなどを背景に、投資家心理が悪化したことから9月末にかけて下落しました。10月には中国における政策金利と預金準備率の引き下げ、欧州や日本における追加金融緩和見通しなど、世界的な金融緩和の拡大期待などから投資家心理が改善し上昇を見せましたが、11月以降作成期末にかけてはFRBによる年内利上げ観測の高まりや原油安を受けて再び下落に転じました。

**第2作成期（2015年11月21日～2016年5月20日）**

当作成期の米国好利回り債券市場（米ドルベース）は、作成期首から2月中旬にかけて、米国の利上げに対する警戒、原油安の進行、世界経済の減速懸念の強まりなどを背景に投資家心理が悪化したことから、下落しました。しかし、その後は原油価格の持ち直し、FRBによる利上げペースの減速観測、米ドル高修正を受けた米国企業の業績見通しの改善などを背景に安心感が広まったことから上昇に転じ、作成期末にかけて堅調に推移しました。

**第3作成期（2016年5月21日～2016年11月21日）**

当作成期の米国好利回り債券市場（米ドルベース）は上昇しました。6月の英国民投票におけるEU（欧州連合）離脱決定を受けて世界的にリスク回避の動きが強まったものの、主要中央銀行による緩和的な金融政策の強化への期待が広まる中、7月上旬にかけて米国金利が低下（債券価格は上昇）したことが下支えとなりました。その後は、米国の早期利上げ観測が強まる中、金利は上昇傾向となりましたが、底堅い米国経済指標や原油価格の上昇などを背景に信用スプレッド（国債への上乗せ金利）が縮小したことから10月下旬にかけて堅調に推移しました。作成期末にかけては、11月の米国大統領選挙におけるドナルド・トランプ氏の勝利を受けて米国金利が急上昇したことから下落に転じ、上昇幅を縮小する展開となりました。

**第4作成期（2016年11月22日～2017年5月22日）**

当作成期の米国好利回り債券市場（米ドルベース）は上昇しました。作成期首から3月にかけては、インフレ期待の高まりやFRBによる利上げ観測の高まりなどを背景に米国債利回りは上昇基調となりましたが、米国新政権によるインフラ投資や大型減税などの景気対策への期待、原油価格の上昇などを背景に信用スプレッドの縮小が続きました。その後作成期末にかけては、米国新政権の政策運営に対する不透明感の高まりや原油価格の下落などを背景に信用スプレッドは拡大に転じましたが、米国債利回りが低下基調で推移したことが米国好利回り債券市場を押し上げる要因となりました。

#### 第5作成期 (2017年5月23日～2017年11月20日)

当作成期の米国好利回り債券市場（米ドルベース）は一進一退を繰り返しつつも上昇しました。作成期首から8月上旬にかけては、好調な企業業績や、株式市場の上昇などを背景に信用スプレッドの縮小が続きました。その後、一時的に北朝鮮との軍事衝突に対する警戒感等に伴うリスク回避姿勢の強まりを受けて信用スプレッドが拡大に転じましたが、市場の落ち着きとともに、好利回り獲得を目的とした高い需要に下支えされ10月末までは信用スプレッドの縮小が継続しました。しかしその後、11月に入ると米国税制改革の進捗への不透明感の高まりや、大型の新規発行によって需給環境が一時的に悪化したことなどを背景に信用スプレッドが再度拡大し、米国好利回り債券市場の上値が抑えられました。

#### 第6作成期 (2017年11月21日～2018年5月21日)

当作成期の米国好利回り債券市場（米ドルベース）は、作成期首から1月下旬にかけては、堅調な株式市場などを背景に市場心理が改善し、上昇しました。しかし、良好な経済指標や、原油をはじめとした資源価格の上昇等によりインフレ圧力が高まり、1月末から2月にかけて米国債利回りは2014年来の高水準にまで急上昇し、米国好利回り債券市場は下落しました。その後、堅調な企業業績や市場の落ち着き等に伴い一旦反発を見せたものの、3月中旬から4月初旬にかけて、米中の貿易摩擦懸念等を背景に投資家心理が悪化したことで信用スプレッドが拡大し、再び下落しました。作成期末にかけては、貿易摩擦に対する懸念が後退したことや、米国の経済指標が良好だったことなどから、信用スプレッドは縮小し、米国好利回り債券市場も回復基調となりました。

#### 第7作成期 (2018年5月22日～2018年11月20日)

当作成期の米国好利回り債券市場（米ドルベース）は、米国と中国や欧州との間で貿易摩擦の懸念が高まり、軟調に推移する場面もありましたが、作成期首から9月にかけては、堅調な株式市場や原油をはじめとした商品価格の上昇などを背景に市場心理が改善し、堅調に推移しました。しかし、10月に入り株式市場の下落等を受けてリスク回避姿勢が高まり、信用スプレッドが拡大したことから、好利回り債券市場も下落しました。

#### 第8作成期 (2018年11月21日～2019年5月20日)

当作成期の米国好利回り債券市場（米ドルベース）は上昇しました。作成期首から2018年12月末にかけて中国や欧州の景気減速懸念の高まりや、FOMC（米連邦公開市場委員会）の声明文がタカ派的だったこと等を背景に信用スプレッドが拡大した局面がありましたが、その後は米中貿易交渉の進展期待やFRBのハト派的スタンスへの転換等により市場心理が改善し、4月にかけて堅調に推移しました。しかし5月に入り、米国が中国に対し輸入品2,000億ドルに課している関税を10%から25%に引き上げることを発表したことをきっかけに貿易摩擦を巡る緊張が高まり、市場では先行き懸念から好利回り債券を含むリスク性資産全般的に軟調な動きとなりました。

#### 第9作成期 (2019年5月21日～2019年11月20日)

当作成期の米国好利回り債券市場（米ドルベース）は上昇しました。作成期首は、トランプ米大統領のメキシコへの関税強化を巡る発言によりリスク回避の動きが強まったことなどから下落しました。

その後、8月までは概ね堅調に推移しましたが、トランプ米大統領が中国への追加関税を発表したことで再度市場心理が悪化、一時的に軟調な動きとなりました。しかし、作成期末にかけては、米国をはじめとした各国中央銀行による緩和期待や、世界的な貿易政策に対する楽観的な見方が広がったことで上昇が継続しました。

#### 第10作成期（2019年11月21日～2020年5月20日）

当作成期の米国好利回り債券市場（米ドルベース）は下落しました。作成期首から1月までは米中貿易協議の進展や、米国の消費関連セクターを中心とした相対的に底堅い経済指標の発表などを背景に、市場がリスク選好の動きとなったことから概ね堅調に推移しました。その後、1月下旬に中国で新型コロナウイルスの感染拡大が確認され、2月下旬には世界的に拡大し、これによる世界経済への下押し懸念から市場のリスク回避姿勢が強まりました。さらに3月に入ると、各国で入国制限や非常事態宣言が発動され、世界経済が一段と減速するとの観測が高まり、金融市場全般が一時パニック状態となりました。その後は米国や先進国で迅速かつ歴史的規模の金融緩和策や経済対策が講じられたことが好感され、大幅下落の半分以上を取り戻し作成期末を迎えました。

#### 第11作成期（2020年5月21日～2020年7月21日）

当作成期の米国好利回り債券市場（米ドルベース）は上昇しました。米国の経済活動再開期待が高まる中、歴史的規模の財政支援策を背景に堅調な動きとなりました。また、FRBによる資産購入プログラムや、好利回り債券への底堅い需要が下支えとなりました。

## 為替市場

### 第1作成期 (2015年7月17日～2015年11月20日)

当作成期の米ドル円は下落しました。8月の中国人民元の実質的切り下げを受けて投資家のリスク回避の動きが強まり、安全資産と見られている円が買われて大幅に円高米ドル安が進行しました。10月後半以降は日銀による追加金融緩和観測が高まったことに加え、米国における年内利上げ観測が高まったことから、円安米ドル高が進行しましたが、作成期を通じて見ると円高米ドル安となりました。

### 第2作成期 (2015年11月21日～2016年5月20日)

当作成期の米ドル円はほぼ一本調子の下落基調となりました。当作成期の前半は、米国の利上げへの警戒感や原油価格の下落を背景に市場心理が悪化する中、安全資産とされる円が買われて下落基調で始まりまし。1月末には日銀のマイナス金利政策の導入決定を受けて一時的に円安方向に振れる局面もありましたが、2月半ばにかけての世界的な株安により市場のリスク回避の動きが強まる中、再び円が買われる展開となりました。その後も、米国の利上げペースの減速観測の広まりを背景に米国の金利先高観が後退し、米ドル高の修正を背景に米ドル円は一段安となりました。

### 第3作成期 (2016年5月21日～2016年11月21日)

当作成期の米ドル円は作成期中前半は下落、後半は上昇となり、作成期を通してみると小幅ながらも円安米ドル高となりました。作成期中前半は、英国のEU離脱をめぐる懸念を背景に世界的にリスク回避の動きが強まる中、安全資産としての需要から円買いが進み円高米ドル安となりました。作成期中後半は、米国の利上げ観測が強まる中、米国金利の先高感から米ドルが主要通貨に対して買われる展開となりました。11月の米国大統領選挙におけるトランプ氏の勝利を受けて米国金利が急上昇すると、さらに米ドル買いが進み円安米ドル高が進行しました。

### 第4作成期 (2016年11月22日～2017年5月22日)

当作成期の米ドル円は前作成期末との比較ではほぼ横ばいとなりました。12月中旬にかけては日米金利差の拡大を背景に円安米ドル高が急速に進みましたが、その後は、トランプ大統領による米ドル高牽制発言、米国新政権による政策運営に対する不透明感の高まりを背景に米ドル高の修正が進みました。欧州の政治リスクへの懸念や中東や北朝鮮情勢の緊迫化を背景に安全資産としての需要から円買いが進んだことも円高要因となりました。4月中旬から作成期末にかけてはフランス大統領選挙の結果を受けた政治リスクの後退から円安米ドル高基調となりました。

### 第5作成期 (2017年5月23日～2017年11月20日)

当作成期の米ドル円は前作成期末から比較して小幅の円安米ドル高となりました。FRBの金融政策に対する動向や、北朝鮮との軍事衝突に対する警戒感の高まり、トランプ政権への政策実行能力に関する不透明感の高まりといった材料に左右される展開となり、9月初旬にはリスク回避の動き



から108円付近まで円高が進みました。しかしその後、FRBが10月からバランスシート縮小に着手することを決定したことで、日米の金利差拡大期待等から米ドルが買われ、円安米ドル高となりましたが、11月に入り米国税制改革の進捗への不透明感の高まり等から米ドル高圧力が一服しました。

#### 第6作成期（2017年11月21日～2018年5月21日）

当作成期の米ドル円は前作成期末から比較して小幅の円高米ドル安となりました。作成期首から1月にかけて、米財務長官による米ドル安容認発言等を背景に円高傾向となり、さらに2月の株式市場の急落に伴うリスク回避的な動き等から円高米ドル安の流れに拍車がかかりました。4月から作成期末にかけては、米中の貿易摩擦の緩和や、原油価格の上昇を背景に米国金利が上昇したことを受け、円安米ドル高となりました。

#### 第7作成期（2018年5月22日～2018年11月20日）

当作成期の米ドル円は前作成期末から比較して円安米ドル高となりました。作成期首から5月下旬にかけては、イタリアの政局不安による地政学リスクの高まり等を受けて、大幅に円高が進行しましたが、その後、株式市場が堅調に推移するなどリスク回避姿勢が弱まり、円安基調となりました。8月に入り、トルコ・リラが急落したことを受けて円が買われ、再び円高が進行したものの、作成期末にかけては良好な米国の経済指標等を背景に米国長期金利が上昇したことなどから、円安米ドル高となりました。

#### 第8作成期（2018年11月21日～2019年5月20日）

当作成期の米ドル円は作成期首から2018年末にかけてリスク回避姿勢の強まりを背景に米国長期金利が上昇し円高米ドル安となりましたが、その後は株式市場の反転をはじめ、市場の落ち着きとともに円安基調となりました。しかしながら作成期末にかけて米中貿易摩擦の激化懸念などを背景に市場心理が悪化し再び円が買われる展開となり、作成期首比較では円高米ドル安で作成期末を迎えました。

#### 第9作成期（2019年5月21日～2019年11月20日）

当作成期の為替市場は小幅に円高米ドル安となりました。8月に米中貿易交渉を巡る不透明感の高まりを背景としたリスク回避の動きにより円高が急激に進行したものの、相対的に堅調な米国経済や米国金利の上昇などを背景に作成期末にかけては、円の上昇幅は縮小しました。

#### 第10作成期（2019年11月21日～2020年5月20日）

当作成期の為替市場は円高米ドル安となりました。3月に新型コロナウイルス感染拡大に伴う世界経済の鈍化懸念からリスク回避姿勢が強まり、変動幅の大きい展開となりました。しかし、作成期末にかけては、世界各国で金融・財政政策が講じられたことや、株式市場の反発などを背景に相対的には落ち着いた動きとなりました。

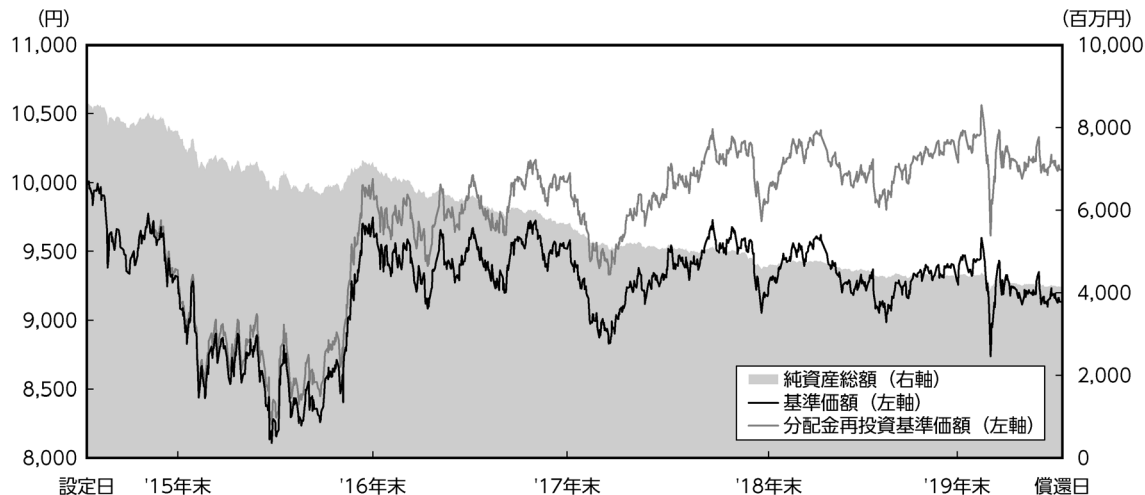
### 第11作成期（2020年5月21日～2020年7月21日）

当作成期の為替市場は小幅に円高米ドル安となりました。6月前半には米雇用統計の改善等を受け日米金利差が拡大したことを背景に円安米ドル高となりましたが、7月に入り新型コロナウイルスの感染者数増加による警戒感の高まり等により、作成期首比では円高米ドル安となり作成期末を迎えました。

## 設定以来の運用経過

(2015年7月17日～2020年7月21日)

## 基準価額等の推移



(注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 当ファンドは単位型投信ですので実際には分配金を再投資することはできません。また、課税条件等を考慮しておりませんので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

## 基準価額の主な変動要因

## 第1作成期（2015年7月17日～2015年11月20日）

当ファンドが保有する債券の価格が下落したこと、為替市場において円高米ドル安が進行したことが基準価額の主な下落要因となりました。

## ●分配金の状況

当作成期の収益分配金につきましては、基準価額水準と市況動向を勘案して第1期50円（元本1万口当たり課税前）とさせていただきます。なお、分配に充てなかった収益につきましては、信託財産中に留保し、元本部分と同一の運用を行うことといたします。

## 第2作成期（2015年11月21日～2016年5月20日）

当ファンドが保有する米国好利回り債券の価格が総じて上昇したことや、利息収入を得られたことが基準価額のプラス要因となりましたが、為替市場において円高米ドル安が進行したことが基準価額の主なマイナス要因となり、基準価額は下落しました。

●分配金の状況

当作成期の収益分配金につきましては、基準価額水準と市況動向を勘案して第2期、第3期それぞれ50円（元本1万口当たり課税前）とさせていただきます。なお、分配に充てなかった収益につきましては、信託財産中に留保し、元本部分と同一の運用を行うことといたします。

第3作成期（2016年5月21日～2016年11月21日）

当ファンドが保有する米国好利回り債券の価格が総じて上昇したこと、保有債券の利息収入が得られたことに加え、為替市場において米ドルが対円で上昇したことがプラス要因となり、基準価額は上昇しました。

●分配金の状況

当作成期の収益分配金につきましては、基準価額水準と市況動向を勘案して第4期、第5期それぞれ50円（元本1万口当たり課税前）とさせていただきます。なお、分配に充てなかった収益につきましては、信託財産中に留保し、元本部分と同一の運用を行うことといたします。

第4作成期（2016年11月22日～2017年5月22日）

当ファンド保有の米国好利回り債券の価格が総じて上昇したこと、保有債券の利息収入が得られたことが主なプラス要因となり、基準価額は上昇しました。

●分配金の状況

当作成期の収益分配金につきましては、基準価額水準と市況動向を勘案して第6期、第7期それぞれ50円（元本1万口当たり課税前）とさせていただきます。なお、分配に充てなかった収益につきましては、信託財産中に留保し、元本部分と同一の運用を行うことといたします。

第5作成期（2017年5月23日～2017年11月20日）

当ファンド保有の米国好利回り債券の価格が総じて上昇したことや保有債券の利息収入が得られたことが主なプラス要因となり、基準価額は上昇しました。

●分配金の状況

当作成期の収益分配金につきましては、基準価額水準と市況動向を勘案して第8期、第9期それぞれ50円（元本1万口当たり課税前）とさせていただきます。なお、分配に充てなかった収益につきましては、信託財産中に留保し、元本部分と同一の運用を行うことといたします。

第6作成期（2017年11月21日～2018年5月21日）

当ファンド保有の米国好利回り債券の価格が総じて下落したことや、為替市場において円高米ドル安が進行したことが、基準価額の主な下落要因となりました。

●分配金の状況

当作成期の収益分配金につきましては、基準価額水準と市況動向を勘案して第10期、第11期それぞれ50円（元本1万口当たり課税前）とさせていただきます。なお、分配に充てなかった収益につきましては、信託財産中に留保し、元本部分と同一の運用を行うことといたします。

**第7作成期（2018年5月22日～2018年11月20日）**

当ファンド保有の米国好利回り債券の価格は下落しましたが、保有債券のインカム収入に加え、為替市場において円安米ドル高が進行したことが基準価額の主な上昇要因となりました。

**●分配金の状況**

当作成期の収益分配金につきましては、基準価額水準と市況動向を勘案して第12期、第13期それぞれ50円（元本1万口当たり課税前）とさせていただきます。なお、分配に充てなかった収益につきましては、信託財産中に留保し、元本部分と同一の運用を行うことといたします。

**第8作成期（2018年11月21日～2019年5月20日）**

当ファンド保有の米国好利回り債券価格の上昇と、インカム収入が主なプラス要因となりましたが、為替市場において円高米ドル安が進行したことがマイナス要因となり、当作成期間の基準価額は小幅上昇にとどまりました。

**●分配金の状況**

当作成期の収益分配金につきましては、基準価額水準と市況動向を勘案して第14期、第15期それぞれ50円（元本1万口当たり課税前）とさせていただきます。なお、分配に充てなかった収益につきましては、信託財産中に留保し、元本部分と同一の運用を行うことといたします。

**第9作成期（2019年5月21日～2019年11月20日）**

当ファンド保有の米国好利回り債券からのインカム収入が主なプラス要因となりましたが、保有債券の価格が下落したことや、為替市場において円高米ドル安となったことがマイナス要因となり、当作成期間の基準価額は下落しました。

**●分配金の状況**

当作成期の収益分配金につきましては、基準価額水準と市況動向を勘案して第16期50円、第17期40円（元本1万口当たり課税前）とさせていただきます。なお、分配に充てなかった収益につきましては、信託財産中に留保し、元本部分と同一の運用を行うことといたします。

**第10作成期（2019年11月21日～2020年5月20日）**

当ファンド保有の米国好利回り債券からのインカム収入が主なプラス要因となりましたが、保有債券の価格が下落したことや、為替市場において小幅に円高米ドル安となったことがマイナス要因となり、当作成期間の基準価額は前作成期末比でほぼ横ばいとなりました。

**●分配金の状況**

当作成期の収益分配金につきましては、基準価額水準と市況動向を勘案して第18期40円、第19期39円（元本1万口当たり課税前）とさせていただきます。なお、分配に充てなかった収益につきましては、信託財産中に留保し、元本部分と同一の運用を行うことといたします。

**第11作成期（2020年5月21日～2020年7月21日）**

当ファンド保有の米国好利回り債券は償還日までの期間が短く、価格はほぼ横ばいとなりましたが、

為替市場において小幅に円高米ドル安となったことがマイナス要因となり、基準価額は下落しました。

●運用経過

当ファンドの運用方針に基づき運用を行いました。2020年7月21日の当ファンドの償還に向けてポートフォリオの現金化を図りました。

受益者のみなさまには、長い間ご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。

## ◆1万口(元本10,000円)当たりの費用明細

(2020年5月21日～2020年7月21日)

| 項目     | 第20期<br>(2020.5.21～2020.7.21) |         | 項目の概要                                            |
|--------|-------------------------------|---------|--------------------------------------------------|
|        | 金額                            | 比率      |                                                  |
| 信託報酬   | 21円                           | 0.230%  | 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率<br>期中の平均基準価額は9,193円です。      |
| (投信会社) | (10)                          | (0.112) | 委託した資金の運用、交付運用報告書等の作成、ファンドの監査等の対価                |
| (販売会社) | (10)                          | (0.112) | 交付運用報告書等各種資料の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価        |
| (受託会社) | (1)                           | (0.006) | 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価                         |
| その他費用  | 0                             | 0.005   | その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数                        |
| (保管費用) | (0)                           | (0.005) | 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転に要する費用 |
| 合計     | 21円                           | 0.235%  |                                                  |

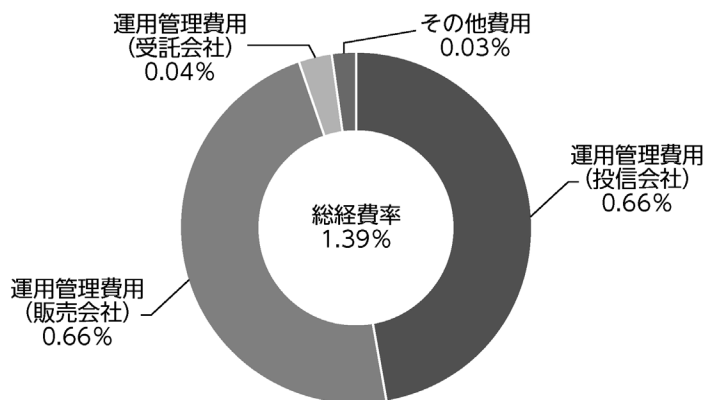
(注1) 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。また、各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

(注2) 比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注3) 消費税は報告日の税率を採用しています。

## &lt;参考情報&gt; 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除きます。）を作成期中の平均受益権口数に作成期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.39%です。



(注1) 費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## ◆売買および取引の状況

(2020年5月21日～2020年7月21日)

### 【公社債】

|        |                  |                | 買付額             | 売付額                    |
|--------|------------------|----------------|-----------------|------------------------|
| 外<br>国 | ア<br>メ<br>リ<br>カ | 国債証券           | 千米国ドル<br>18,998 | 千米国ドル<br>—<br>(30,655) |
|        |                  | 社債券(投資法人債券を含む) | —               | —<br>(22,053)          |

(注1) 金額は受渡代金。(経過利子分は含まれていません。)

(注2) 単位未満は切捨て。

(注3) ( )内は償還等による増減分です。

(注4) 社債券(投資法人債券を含む)には新株予約権付社債(転換社債)は含まれていません。

## ◆主要な売買銘柄

(2020年5月21日～2020年7月21日)

### 【公社債】

| 買付                   |                 | 売付 |         |
|----------------------|-----------------|----|---------|
| 銘柄                   | 金額              | 銘柄 | 金額      |
| TREASURY BILL (アメリカ) | 千円<br>2,045,217 | —  | 千円<br>— |

(注1) 金額は受渡代金。(経過利子分は含まれていません。)

(注2) 単位未満は切捨て。

## ◆利害関係人との取引状況等

(2020年5月21日～2020年7月21日)

当作成期における利害関係人との取引等はありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ◆組入資産の明細

(2020年7月21日現在)

償還日現在における有価証券等の組入れはありません。



## ◆投資信託財産の構成

(2020年7月21日現在)

| 項 目                     | 当作成期末（償還時） |       |
|-------------------------|------------|-------|
|                         | 評 価 額      | 比 率   |
|                         | 千円         | %     |
| コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他 | 4,151,719  | 100.0 |
| 投 資 信 託 財 産 総 額         | 4,151,719  | 100.0 |

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

## ◆資産、負債、元本および償還価額の状況

(2020年7月21日現在)

| 項 目                     | 第20期末(償還時)     |
|-------------------------|----------------|
|                         | 円              |
| (A) 資 産                 | 4,151,719,274  |
| コ ー ル ・ ロ ー ン 等         | 4,151,719,274  |
| (B) 負 債                 | 9,575,722      |
| 未 払 信 託 報 酬             | 9,570,035      |
| 未 払 利 息                 | 5,687          |
| (C) 純 資 産 総 額 ( A - B ) | 4,142,143,552  |
| 元 本                     | 4,535,283,281  |
| 償 還 差 損 金               | △ 393,139,729  |
| (D) 受 益 権 総 口 数         | 4,535,283,281口 |
| 1万口当たり償還価額(C/D)         | 9,133円15銭      |

&lt;注記事項&gt;

設定年月日

2015年7月17日

設定元本額

8,560,985,127円

第20期

期首元本額

4,569,700,564円

元本残存率

52.9%

1口当たり純資産額

0.913315円

償還差損金

393,139,729円

## ◆損益の状況

(2020年5月21日～2020年7月21日)

| 項 目                         | 第20期          |
|-----------------------------|---------------|
|                             | 円             |
| (A) 配 当 等 収 益               | 6,144,934     |
| 受 取 利 息                     | 5,053,181     |
| そ の 他 収 益 金                 | 1,110,416     |
| 支 払 利 息                     | △ 18,663      |
| (B) 有 価 証 券 売 買 損 益         | △ 36,263,122  |
| 売 買 益                       | 30,512,464    |
| 売 買 損                       | △ 66,775,586  |
| (C) 信 託 報 酬 等               | △ 9,804,846   |
| (D) 当 期 損 益 金 ( A + B + C ) | △ 39,923,034  |
| (E) 前 期 繰 越 損 益 金           | △ 356,219,526 |
| (F) 解 約 差 損 益 金             | 3,002,831     |
| 償 還 差 損 金 ( D + E + F )     | △ 393,139,729 |

(注1) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注2) (F)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

(注3) 投資信託財産の運用の指図にかかわる権限の一部を委託するため要する費用は1,873,901円です。(2020年5月21日～2020年7月21日)

## ◆投資信託財産運用総括表

| 信託期間  | 投資信託契約締結日      | 2015年7月17日     |                 | 投資信託契約終了時の状況 |                |
|-------|----------------|----------------|-----------------|--------------|----------------|
|       | 投資信託契約終了日      | 2020年7月21日     |                 | 資産総額         | 4,151,719,274円 |
| 区分    | 投資信託契約締結当初     | 投資信託契約終了時      | 差引増減または追加信託     | 負債総額         | 9,575,722円     |
| 受益権口数 | 8,560,985,127口 | 4,535,283,281口 | △4,025,701,846口 | 純資産総額        | 4,142,143,552円 |
|       |                |                |                 | 受益権口数        | 4,535,283,281口 |
| 元本額   | 8,560,985,127円 | 4,535,283,281円 | △4,025,701,846円 | 1万口当たり償還金    | 9,133.15円      |

## ◆毎計算期末の状況

| 計算期                     | 元本額            | 純資産総額          | 基準価額   | 1万口当たり分配金 |         |
|-------------------------|----------------|----------------|--------|-----------|---------|
|                         |                |                |        | 金額        | 分配率     |
| 第1期                     | 8,545,393,106円 | 8,213,884,874円 | 9,612円 | 50円       | 0.5000% |
| 第2期                     | 8,270,246,075  | 7,045,424,740  | 8,519  | 50        | 0.5000  |
| 第3期                     | 8,067,429,098  | 7,090,466,902  | 8,789  | 50        | 0.5000  |
| 第4期                     | 7,789,749,874  | 6,443,740,075  | 8,272  | 50        | 0.5000  |
| 第5期                     | 7,576,152,014  | 6,838,626,391  | 9,027  | 50        | 0.5000  |
| 第6期                     | 7,131,059,738  | 6,693,216,480  | 9,386  | 50        | 0.5000  |
| 第7期                     | 6,760,308,067  | 6,356,670,174  | 9,403  | 50        | 0.5000  |
| 第8期                     | 6,442,692,283  | 5,957,497,951  | 9,247  | 50        | 0.5000  |
| 第9期                     | 6,141,906,398  | 5,797,690,950  | 9,440  | 50        | 0.5000  |
| 第10期                    | 5,785,896,475  | 5,198,233,629  | 8,984  | 50        | 0.5000  |
| 第11期                    | 5,571,256,390  | 5,200,693,839  | 9,335  | 50        | 0.5000  |
| 第12期                    | 5,319,861,748  | 4,970,622,917  | 9,344  | 50        | 0.5000  |
| 第13期                    | 5,183,373,350  | 4,915,148,958  | 9,483  | 50        | 0.5000  |
| 第14期                    | 5,013,558,934  | 4,725,207,282  | 9,425  | 50        | 0.5000  |
| 第15期                    | 4,941,147,175  | 4,643,222,422  | 9,397  | 50        | 0.5000  |
| 第16期                    | 4,828,067,398  | 4,399,867,364  | 9,113  | 50        | 0.5000  |
| 第17期                    | 4,725,082,617  | 4,394,895,534  | 9,301  | 40        | 0.4000  |
| 第18期                    | 4,671,470,246  | 4,449,155,576  | 9,524  | 40        | 0.4000  |
| 第19期                    | 4,569,700,564  | 4,213,481,038  | 9,220  | 39        | 0.3900  |
| 信託期間中1万口当たり総収益金及び年平均収益率 |                |                |        | 52.15円    | 0.1040% |

## ◆償還金のお知らせ

|               |           |
|---------------|-----------|
| 1万口当たり償還金（税込） | 9,133円15銭 |
|---------------|-----------|

- ◇償還金は償還日から起算して、5営業日までにお支払いを開始いたします。
- ◇償還金に対する税金は次のとおりです。
  - 個人の受益者の場合は、償還時の差益については申告分離課税が適用され、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%）の税率となります。
  - 法人の受益者の場合は、償還時の元本超過額について15.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%）の率による源泉徴収が行われます。
- ※税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になる場合があります。